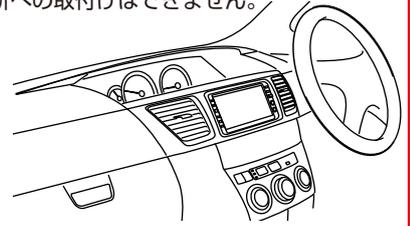


取付け前に

- 取付け作業は、必ずお車を停止させ、エンジンを切った状態でおこなってください。
- 収納するスマートフォンの大きさに合わせて本製品の角度を調整し、設置場所のシミュレーションと取付け場所の清掃を必ずおこなってください。
- 本製品は以下の場所には取付けることができません。
※垂直面に近い場所や逆さま・ほこりや油分などのある場所・隙間・段差・繊維などの真空状態を保持できない場所への取付けはできません。
- ※本製品をダッシュボードに取付けた際に吸着跡が残る場合があります。
- ※経年車の場合は、取付け場所の劣化や変質による破損や脱落のおそれがありますので取付けできません。
- 再取付け時に吸盤の吸着ゲルを汚した時は、中性洗剤で洗い、水分の無い状態まで乾かしてから再度取付けてください。
- ※汚れや水分が残っていると確実な吸引が保持できません。
- 吸盤の吸着ゲルは極端な高・低温になると硬・軟質になり過ぎて取外しが困難な場合があります。
常温（20℃±15℃）になってから取外してください。
- ※硬・軟質になったゲルを無理に取外すと接地面や製品を破損するおそれがあります。
- 長期間連続して吸引すると、真空状態が徐々に低下することがあります。その場合は、本製品を取付け直し、確実な吸引力を保持してください。
- 強い紫外線があたる場所や車内の芳香剤によって吸盤部分の吸着ゲルが溶解する場合があります。取付け場所に注意してください。
- ※吸盤貼付け前に取付け場所の材質については車の説明書や自動車メーカーへの問い合わせなどで必ずご確認ください。



⚠ 注意と警告 ※ご使用前に必ずお読みください。

- 本製品は、道路運送車両の保安基準に抵触しないよう以下の場所には絶対に取付けしないでください。
- ※運転者前方視界の妨げになる場所。（詳しくは、弊社 HP の前方視界基準の説明ページをご確認ください。
<https://www.seikosangyo.co.jp/exea/frontv/>）※突起物として危険の生じる場所（とくにチャイルドシートの正面）。
- ※万一落下した場合に運転者の操作の妨げになる場所。
- ※安全装置（エアバッグ・シートベルトなど）の作動・効果を妨げる場所やステアリング付近。
- 本製品は全ての車両への取付けを保証していません。常時強い振動が発生する車両（工事業車など）への取付けはできません。
- 本製品は強力なマグネットを使用しています。取扱いは以下の内容にご注意ください。
- ※心臓ペースメーカーを使用されている方は絶対に本製品を近づけないでください。
- ※スマートフォンを取外す場合は本製品のマグネット跡などが発生する場合があります。
- ※磁気カードやチケット、メモリーなどの記録媒体を近づけると、データが破損して使用できなくなるおそれがあります。
時計、レーダーなどの電子機器も故障の原因となる場合がありますので磁石部に接触させないでください。
- 繊維・皮革・布地には取付けできません。また、曲面のきつい場所や球面など、吸盤の吸着ゲルの接着面が密着しにくい場合の取付けはお避けください。
- ダッシュボードの材質・曲面により取付けできない場合があります。無理に取付けしないでください。
- 本製品が周辺と干渉の可能性がある場合は使用しないでください。
- スマートフォンケースの種類、構造、材質によっては、マグネット取付けが弱くなり落下する場合があります。
- 本製品付属のクリーニングティッシュは、アルコールを含んでいます。アレルギーのある方は使用しないでください。
- 本製品を取付け使用の際、車両側に使用前との変化が生じた場合の故障、損害（破損・キズ・変色・跡など）は弊社では責任、補償を負いかねます。
- 走行中の激しい振動により、スマートフォンが落下する場合があります。
- 使用上の落下によるスマートフォンの故障・破損・キズ・変色・跡などの損害につきましては、弊社では責任、補償を負いかねます。
- お車から離れる際は必ずホールドした機器を外してください。
- 炎天下の車内は、本体の金属アームの温度が高くなります。やけどなどのおそれがありますのでご注意ください。
- 炎天下の車内でスマートフォンを放置しないでください。※熱によりスマートフォンが変形・破損・故障のおそれがありますのでご注意ください。
- 運転中に本製品やスマートフォンの操作は大変危険ですでおやめください。
- パッケージの画像はイメージです。
- 本製品は自動車専用です。他の用途にはご使用になれません。
- ※本台紙記載のご注意に従わない場合や、誤ったお取付け・分解改造をされた際の事故・故障・損害につきましては、弊社では一切その責任を負いかねます。



取付けできない場所

- 運転者前方視界の妨げになる場所やフロントガラス、運転席・助手席のサイドガラス、および三角窓。
- 突起物として危険の生じる場所（とくにチャイルドシートの正面）。
- 安全装置（エアバッグ・シートベルトなど）の作動・効果を妨げる場所やステアリング付近。

部品一覧と名称



付属品



金属リング



保護シート



クリーニングティッシュ
（ウェットとドライ）
※アルコールを含んでいます。
アレルギーのある方は
使用しないでください。



補助板
（両面テープ付き）

耐荷重250gまで ※本製品に充電機能はありません。
※ケースやストラップなどを含めた重さです。

ダッシュボードに貼付けるには段差のない
「直径 70mm」の面が必要です。

ご使用方法

角度調整について

(図-1) 360度回転 吸盤ロックダイヤル

(図-2) 約180度 トルクヒンジ① 金属アーム 約15度 約140mm

(図-3) マグネット部 約90度 トルクヒンジ② 約124mm 金属アーム 約90度 吸盤ロックダイヤル ゲル付き吸盤

- 本製品の回転部は 360 度の回転調整が可能です。(図-1)
- トルクヒンジ①を調整することで、金属アームを 180 度立ち上げたり、15 度下げたローダウンの位置にすることができます。(図-2)
- トルクヒンジ②を調整することで、マグネット部を 90 度立ち上げたり、90 度下げたの位置にすることができます。(図-3)

※運転手や同乗者の視界の妨げにならないよう、取付け位置には十分ご注意ください。
※収納するスマートフォンの大きさに合わせて角度を調整し、設置場所のシミュレーションを必ずおこなってください。

吸盤部の取付け、取外し、補助板について

【吸盤部の取付け】

- 車両に取付ける前に、設置場所のシミュレーションと取付け場所の清掃を必ずおこなってください。
※何度も取付け直すと、ほこりやゴミが付着して、吸着力が低下します。
- ゲルの接着面については下記の注意を再度ご確認ください。
※繊維・皮革・布地には取付けできません。また、曲面のきつい場所や球面など、吸盤の吸着ゲルの接着面が密着しにくい場合の取付けはお避けください。
※取付け場所の汚れ・ほこり・油成分などを中性洗剤でよく落とししてください。
※取付け場所の素材が中性洗剤で拭いても変質しないか、車の説明書や自動車メーカーへの問い合わせなどで必ずご確認ください。

(図-4) 乾いた布など

(図-5) 金属アーム 吸盤ロックダイヤル 保護フィルムをはがす ゲル付き吸盤

(図-6) (図-7) 吸盤ロックの状態

- ①シミュレーションで決めた位置の周囲を乾いた布などで汚れ・ホコリ・油分などを拭き取ってください。(図-4)
- ②吸盤ロックダイヤルの操作の邪魔にならないように、金属アームを真上に固定してください。(図-5)
- ③ゲル付き吸盤の保護フィルムをはがし、設置場所にゲル付き吸盤を押し当てながら、吸盤ロックダイヤルを右から左へ時計回りに回転して、カチッと音がしてからロックされたことを示します。(図-5、図-6、図-7)

※ゲル付き吸盤の接着力が発揮される目安は、固定してから 12 時間以降です。
固定直後は接着力が弱いので、12 時間後にスマートフォンの取付けてください。

【付属品:補助板を利用する場合】

- ゲル付き吸盤を直接取付けにくい場合(凹凸面など)に補助板を利用して、本製品を取付けます。
※取付け場所の汚れ・ほこり・油成分などを中性洗剤でよく落とししてください。
※取付け場所の素材が中性洗剤で拭いても変質しないか、車の説明書や自動車メーカーへの問い合わせなどで必ずご確認ください。
- 補助板には切り欠き凹みがあり、ゲル付き吸盤の凸と一致させて取付ける必要があります。(図-8)
※必ず、貼付け前に、ゲル付き吸盤の取付け位置と方向をご確認ください。
※付属の補助板裏面の両面テープの剥離紙をはがして、設置場所に貼付けてください。(図-8)
- ※両面テープの接着力が発揮される目安は、貼付け 24 時間以降です。
貼付け直後は接着力が弱いので、24 時間後に吸盤を取付けてください。
- ※【吸盤部の取付け】ゲル付き吸盤を補助板の上に取付けてください。
- 寒い時期は両面テープが冷えて硬くなり、貼付け難くなる場合があります。
※貼付け前に補助板の両面テープをドライヤーなどで温めてから貼付けてください。

(図-8) ゲル付き吸盤の凸 補助板 剥離紙をはがして貼付ける。その後24時間待つ 切り欠き位置に注意

【吸盤の取外しについて】

- 吸盤ロックダイヤルの操作の邪魔にならないように、金属アームを真上に固定してください。(図-9)
- 吸盤ロックダイヤルを左から右へ回転しロック解除します。(図-9)
- ゲル付き吸盤の凸部分を持ち、ゆっくりと引き上げて取外します。(図-10)
※無理な力で引っ張るとゲルが破損するおそれがあります。
無理な力を加えずに両手で取外してください。
※取外し後は、ゲル部分が汚れないように保管してください。

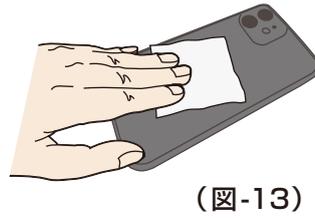
(図-9) 金属アーム 吸盤ロックダイヤル 吸盤ロック解除の状態

(図-10)

- 長期保管をする時はゲル付き吸盤の保護フィルムを取付け、吸盤部分の変形を避けるため、吸盤レバーは緩めた状態にして直射日光や高温にならない場所に保管してください。

金属リングと保護シートの貼付けについて

- Magsafe 対応機種を使用する際に、保護シートのみをスマートフォンの背面、もしくはスマートフォンケースの背面に貼付けてご使用ください。
- Android スマートフォンや Apple Magsafe でない機種や対応していないスマートフォンケースを使用する際に、保護シートと金属リングをスマートフォンの背面、もしくはスマートフォンケースの背面に貼付けてご使用ください。
- ※スマートフォンケースの種類、構造、材質によっては、マグネット取付けが弱くなり落下する場合があります。
- ※手帳型ケースや表面に凹凸のあるケースなどへは脱落のおそれがありますので取付けできません。

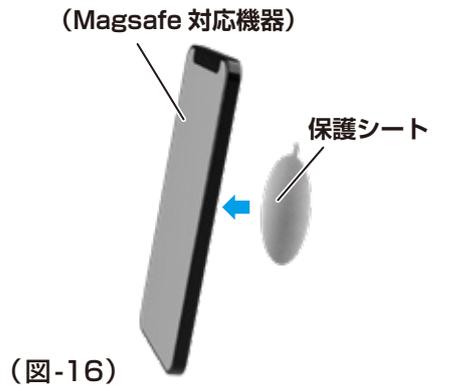


- スマートフォンの背面、もしくはスマートフォンケース背面をクリーニングティッシュ (ウェットとドライ) で汚れ・ホコリ・油分などを落としてください。
- ①クリーニングティッシュ 1 (ウェット) を使用して清掃してください。(図-11, 図-13)
- ②クリーニングティッシュ 2 (ドライ) を使用して水分を拭き取ってください。(図-12, 図-13)
- ③スマートフォンの背面、もしくはスマートフォンケース背面に保護シートを貼付けてください。(図-14)
- ④金属リングの剥離紙をはがして金属リングを保護シートの中心になるように貼付けてください。(図-15)

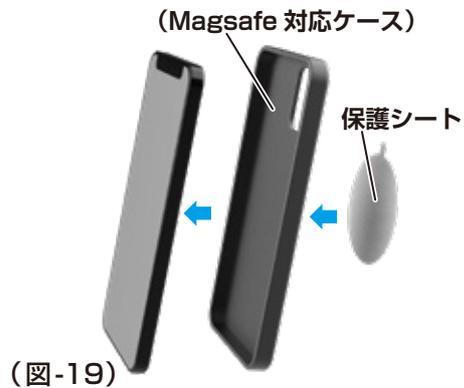
●貼付け直後は接着力が弱いのでご注意ください。両面テープの接着力が発揮される目安は貼付け24時間以降です。

スマートフォンやスマートフォンケースへ取付けについて

<スマートフォンの背面に貼付け>



<スマートフォンケースの背面に貼付け>



- 保護シートを貼付ける面の汚れ・ホコリ・油分などを拭き取ってください。
- ※保護シートと金属リングは金属や樹脂などの平滑面のみ貼付けが可能です。繊維・皮革・布地のケースなどには絶対に貼付けないでください。
- ※保護シートは付属の金属リングやマグネット部が直接スマートフォンやスマートフォンケースに触れてキズ防止を目的としていますが、完全に保護できるものではありませんのでご了承ください。
- 保護シートと金属リングの剥離紙をはがし、上図を参考にスマートフォンやスマートフォンケースに貼付けます。(図-16,17) (図-19,20)
- スマートフォンを本製品に固定する際は、確実に固定されることをご確認のうえ、ゆっくりと手を離してください。(図-18,21)
- ※スマートフォンを投げて取付ける行為は、落下のおそれがありますので絶対におやめください。
- ※お客様がご使用になっているワイヤレス充電器がある場合、金属リングの貼付ける位置によって、ワイヤレス充電ができない場合があります。ワイヤレス充電の仕様については説明書やスマートフォンメーカーへお問い合わせください。

スマートフォンの取外し方について



- スマートフォンを本製品から取外す際は、必ず、片方の手で「吸盤ロックダイヤル部」を押さえておこなってください。(図-22)

星光産業の新製品情報や
役立つ情報などが満載
星光産業株式会社ホームページ
<https://www.seikosangyo.co.jp>



製品に関するお問い合わせは星光産業サービスセンターへどうぞ
TEL(048)984-1290(直通)
月曜日～金曜日(祝日を除く) 9:00-12:00 13:00-17:00

※EXEA (エクセア) は星光産業株式会社の登録商標です。
※この製品は日本国内で企画され、中国で製造されたものです。
※この製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。
※iPhoneおよびMAGSAFEは、Apple Inc.の商標です。
※PhoneおよびMAGSAFEについては、各製品の取扱説明書に従ってください。
※Androidは、Google Inc.の商標です。
※その他、本紙に記載されている商品名などは、各社の商標または登録商標です。 CA-11

クルマにもっと自分らしさ……
星光産業株式会社
SEIKOSANGYO CO., LTD.
〒342-0043 埼玉県吉川市小松川 561-1
JAAMA 全国自動車用品工業会会員